学校番号	1302

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）美術演習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	本校作成のプリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・与えられた課題、テーマに対して自分らしい表現をするための発想や構想の練り方、それを表現するための技術、技法を身に着ける授業です。
・伝統技法に触れ、身近な生活の中にある美術的要素について学ぶ活動も行います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
対象を捉える造形的な視点について造形を深めるとともに、意図に応じて表現方法を工夫している。
【思考力、判断力、表現力等】
意図に応じて表現方法を工夫して個性豊かな発想、構成を練り作品として表現している。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に美術の創造的な諸活動取り組み、感性と美意識を高め心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な知識・技能を身につけ、与えられた対象（テーマ）に合わせ表現方法を工夫して表現している。	与えられた対象（テーマ）に対し個性を確立させ、自分の表現方法を構想として練り、作品として表現できているか。	生活や社会に目を向けそこに存在する美術的要素に気づいているか。自分の作品制作や他者の作品の鑑賞の際にその視点を活かし意欲的に取り組んでいるか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	既製品の着彩	・クロッキー ・水彩絵の具を用いた着彩画 ・相互鑑賞	a: 目的を理解し、画材の特性を活かして表現している。 b:対象(テーマ)を見つめて特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c:美術の多様な表現に関心を	提出物 観察	提出物	観察 振り返りシート

			持ち、これからの　学習活動に意欲的である。			
	コラージュ「名画の再現」	・コラージュの制作 ・相互干渉	a:材料の組み合わせを思考し、密度のある構成で表現できている。 b:テーマを表現するために色や形のみではなく、自分が感じ取った作品の特徴を表現しようと工夫している。 c:コラージュの技法に面白さを見出し、主体的に取り組もうとしている。	提出物 観察	提出物	観察 振り返りシート
2学期	石膏デッサン	・木炭を用いた石膏デッサンの制作 ・相互鑑賞	a:木炭、練りゴムの特性を理解し、石膏像の形や質感を正確に描写しようとしている。 b:石膏像のもつ形、色彩、質感にあった表現木炭、練ゴムの特性を活かし表現している。 c:石膏をよく観察し主体的に取り組もうとしている。	観察 提出物	提出物	観察 振り返りシート
	消しゴムハンコで模様づくり	・模様を組み合わせることでパターンを学ぶ ・消しゴム判子作成 ・相互鑑賞	a:消しゴム判子の特性を理解し、篆刻刀などの道具の特性を活かして正しく使用することができる。 b:同じ模様を繰り返すこと（パターン）の面白さを見つけ表現方法を工夫している。 c:　素材の特徴を理解するとともに、工夫をこらし主体的に取り組もうとしている。	提出物 観察	提出物	観察 振り返りシート
3学期	絵漢字のデザイン	・漢字の持つ意味やイメージを膨らませ色や形を工夫しデザインする ・ケント紙に指定のサイズの枠を描く ・相互鑑賞	a:画材料の特性を理解し、デザインに適した丁寧な作画、着彩をしようとしている。 b:　漢字の持つ意味やイメージを膨らませ色や形を工夫しデザインに活かし表現を工夫している。 c:テーマを表現するために、工夫をこらして主体的に取り組もうとしている。	提出物 観察	提出物	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度